

教育委員会だより

回覧

第 37 号 平成 25 年 (2013 年) 11 月 15 日

編集発行 山北町教育委員会学校教育課

〒258-0195 山北町山北 1301-4

T E L 0465-75-3648

スポーツの秋

10月6日(日)に第11回やまきた健康スポーツ大会が開催されました。昨年は雨天により中止となりましたが、今年は好天に恵まれ、元プロ野球選手の前田益穂氏による野球教室や神奈川大学陸上競技部参加によるグラウンド30周リレーマラソン大会などが行われました。2,000人の来場者は大いに盛り上がり、各種目で参加者は心地よい汗をかいていました。



山北中・山北高による町内合同清掃を実施



10月17日(木)に、山北中学校1年生と山北高校1年生が鉄道公園に集合し、中高合同の地域清掃活動が行われました。中学1年生の総合的な学習の時間の一環として地域に貢献することの意義を学ぶことや、山北高校1年生との交流を深めることがねらいであり、毎年行われている恒例行事です。中学生と高校生が一緒のグループを組み、会話を交わしながら協力し合って山北駅周辺のゴミ拾いをした結果、400kgものゴミが回収されました。

平成25年度全国学力学習状況調査結果

今年度、4月24日に全国の小学校6年生及び中学校3年生の全児童・生徒を対象に学力・学習状況調査が実施されました。

この調査には、教科に関する調査と生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査の2種類があります。目的は、児童・生徒の学力や学習状況を把握・分析し、成果と課題を検証すること、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立すること、学校における児童・生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることにあります。

【教科に関する調査】

小・中学校ともに国語と算数・数学の2教科で、「知識」に関する問題と「活用に関する問題」の2種類の問題で行われました。

小学校の国語に関しては、漢字を正しく読んだり書いたりすることや目的・意図に応じて必要な内容を適切に書き加えることなどに課題があり、県公立学校の平均正答率よりもやや低い状況がみられました。

算数に関しては、単位量当たりの大きさを求める除法の意味を理解することに良好な結果がみられましたが、グラフから必要な情報を読み取ることや情報を整理して筋道立てて考えることに課題があり、県公立学校の平均正答率よりやや低い状況がみられました。

中学校の国語については、比喻を用いた表現の理解や図と文章の関係の把握等に良好な結果がみられました。文の接続に注意して伝えたいことを明確にして書くことや、文章の展開に即して内容を捉えることに課題がみられましたが、県公立学校の平均正答率とほぼ同程度でした。

数学については、与えられた図形の拡大図を書いたり、見取図・投影図から空間図形を読み取ったりすることに良好な結果がみられました。設問の指示に基づいて証明したり、発展的に考えて予想した事柄を説明したりすることに課題がみられましたが、県公立学校の平均正答率とほぼ同程度という状況でした。



【児童・生徒質問紙調査】

小・中学校ともに、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問が83項目で行われました。

小学生は、規則正しく生活し、朝食も約98%の児童が「ほぼ毎日食べている」状況にあることがみられました。携帯電話やスマートフォンを持っている児童の割合は約49%で、全国平均とほぼ同じです。「地域の行事に参加している」児童の割合が高く、地域や社会の出来事への関心を持ち、地域や社会をよくするために何をすべきかを考えながら生活している様子がみられました。また、「学校のきまりを守っている」児童の割合が高く、きまりを守ろうという意識が育まれています。

中学生では、朝食を「ほぼ毎日食べている」生徒は約92%であり、就寝・起床時間が一定であるなど、規則正しい生活習慣が身に付いているようです。また、難しいことにも挑戦しようという気持ちを持っている生徒の割合が高く、「自分にはよいところがある」という自己肯定感を持ち、将来の夢や目標を持って生活している様子がうかがえました。約80%の生徒が携帯電話やスマートフォンを持っており、全国平均よりも高い傾向ですが、家の人と使い方についての約束事を守っている割合は高い状況であることがわかりました。地域の行事に参加している生徒や、地域や社会をよくするために何をすべきかを考えている生徒の割合が高く、地域とともに成長している様子がうかがえます。

課題としては、小・中学校ともに、学校の宿題に対して多くの児童・生徒が取り組んでいる反面、予習・復習等の家庭での学習時間が少ない傾向にあることが挙げられます。

【今後の取組み】

全国学力・学習状況調査の結果は8月末に送付され、各学校では児童生徒に個人票を返すとともに、結果を分析して指導に活かせるようにしています。

この全国学力・学習状況調査の結果から、繰り返し学習や「書く」指導に力を入れ、自分の考えを発表する機会を設けるなどの授業展開を工夫し、家庭学習も含めた学習習慣づくり等をとおして主体的に学習に取り組む態度を育成していきます。そして、すべての教育活動を通じて豊かな人間性と望ましい社会性を育む学校づくりをめざします。



教育委員会の審議事項

平成25年（第8回～第10回・協議会）

○第8回（8月28日）

- ・教育長報告他

○協議会（8月28日）

- ・統合中学校の制服・校則検討委員会の検討結果の報告について
- ・山北町の幼稚園・保育園のあり方基本方針（案）について
- ・山北町立統合小学校の校名について（アンケート募集）
- ・幼・小・中学校の運動会について
- ・学校訪問について

○第9回（9月26日）

- ・山北町教育委員会委員長並びに同職務代理の選出について

☆教育委員長に小林亘さん、委員長職務代理者に岡部達也さんが再任されました。

○協議会（9月26日）

- ・第11回やまきた健康スポーツ大会について
- ・第35回丹沢湖マラソン大会について
- ・中央公民館の生涯学習センター化について
- ・山北町の幼稚園・保育園のあり方基本方針について
- ・全国学力・学習状況調査について

○第10回（10月17日）

- ・山北町立の小中学校等の設置に関する条例の一部を改正する条例の制定について

○協議会（10月17日）

- ・人権問題講演会について
- ・山北町立統合小学校の校名の経過報告について
- ・全国学力・学習状況調査について
- ・学校訪問について

